【公報種別】実用新案法第１４条の２の規定による訂正明細書等の掲載
【部門区分】第２部門第６区分
【発行日】令和1年12月5日(2019.12.5)

【登録番号】実用新案登録第3216684号(U3216684)
【訂正の登録日】令和1年6月11日(2019.6.11)
【登録公報発行日】平成30年6月14日(2018.6.14)
【出願番号】実願2018-1252(U2018-1252)
【国際特許分類】
Ｂ６５Ｄ　5/38　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｂ６５Ｄ　5/38　Ｅ

【訂正書】
【提出日】令和1年5月13日(2019.5.13)
【訂正の目的】実用新案登録請求の範囲の減縮
【訂正の内容】
【実用新案登録請求の範囲】
【請求項１】
筒状部を有する外箱と、前記筒状部の内側に摺動可能に挿入される内箱とを備えたロック機能付きスライド式包装箱において、
前記外箱は一枚の外箱形成片により形成され、前記外箱形成片には、互いに平行に連接された複数の外箱側面板と、前記複数の外箱側面板の中の１つである第一の外箱側面板の、前記連接方向に対して直角方向の端部に延設された外箱補助板と、前記第一の外箱側面板の内側に、前記外箱補助板の方向に膨出した形状の破断線又は切込線によって形成された舌片状の第一の押圧部と、前記複数の外箱側面板又は前記外箱補助板の端部に延設された外箱係合片と、前記第一の外箱側面板と異なる第二の外箱側面板の内側に、前記外箱補助板の延設方向に膨出した形状の破断線又は切込線によって形成された舌片状の第二の押圧部とが設けられ、
前記外箱形成片を組み立てた状態で、前記複数の外箱側面板で外箱筒状部を形成し、前記第一及び第二の外箱側面板が互いに交差する位置に配置され、前記第一の外箱側面板の裏面側に前記外箱補助板が重なり、前記外箱補助板の先端側に、前記外箱補助板の端縁と前記外箱補助板が重ならない部分との段差によって第一の外箱係合凹部が形成され、前記第一の押圧部が前記第一の係合凹部と重なる位置に配置され、前記外箱補助板の基端部が位置する側の開口が、前記内箱が差し込まれる挿入口となり、前記第二の外箱側面板の裏面側に前記外箱係合片が重なり、前記外箱係合片の、前記挿入口と反対側に、前記外箱係合片の端縁と前記外箱係合片が重ならない部分との段差によって第二の外箱係合凹部が形成され、前記第二の押圧部が前記第二の係合凹部と重なる位置に配置され、
前記内箱は一枚の内箱形成片により形成され、前記内箱形成片には、互いに平行に連接された複数の内箱側面板と、前記複数の内箱側面板の中の１つである第一の内箱側面板の、前記連接方向に対して直角方向の端部に延設され、第一の内箱折罫線で前記第一の内箱側面板と区切られた第一の内箱係合片と、前記第一の内箱側面板と異なる第二の内箱側面板の、前記第一の内箱係合片側の端部に延設され、第二の内箱折罫線で前記第二の内箱側面板と区切られた第二の内箱係合片とが設けられ、
前記内箱形成片を組み立てた状態で、前記複数の内箱側面板で前記外箱筒状部内を摺動可能な内箱本体部を形成し、前記第一の内箱係合片が前記第一の内箱折罫線で折り曲げられて前記第一の内箱側面板の表面側に重なり、前記第二の内箱係合片が前記第二の内箱折罫線で折り曲げられて前記第二の内箱側面板の表面側に重なり、前記第一の内箱係合片の基端部が位置する側の端部が、前記外箱に差し込まれる挿入端となり、
前記内箱が前記外箱内に挿入されると、前記第一の外箱側面板と前記第一の内箱側面板

とが対面し、前記第一の内箱係合片が、前記第一の内箱折罫線の折り曲げに対する反発力によって前記第一の外箱側面板の方向に付勢され、前記第二の外箱側面板と前記第二の内箱側面板とが対面し、前記第二の内箱係合片が、前記第二の内箱折罫線の折り曲げに対する反発力によって前記第二の外箱側面板の方向に付勢され、

前記第一の内箱係合片が前記第一の外箱係合凹部に入って係合すると、前記内箱をその位置から引き出せなくなる第一のロックが掛かり、前記第一のロックは、前記第一の押圧部を表面側から押圧し、前記第一の内箱係合片を前記第一の外箱係合凹部の外に移動させることによって解除することができ、前記第二の内箱係合片が前記第二の外箱係合凹部に入って係合すると、前記内箱をその位置から引き出せなくする第二のロックが掛かり、前記第二のロックは、前記第二の押圧部を表面側から押圧し、前記第二の内箱係合片を前記第二の外箱係合凹部の外に移動させることによって解除することができることを特徴とするロック機能付きスライド式包装箱。

【請求項２】

前記内箱が前記外箱の奥まで挿入された位置で前記第一及び第二のロックが掛かることを特徴とする請求項１記載のロック機能付きスライド式包装箱。

【請求項３】

前記内箱が前記外箱の奥まで挿入された位置で前記第一のロックが掛かり、前記内箱が引き出された途中の位置で前記第二のロックが掛かる請求項１記載のロック機能付きスライド式包装箱。

【請求項４】

前記内箱が前記外箱の奥まで挿入された位置で前記第二のロックが掛かり、前記内箱を引き出された途中の位置で前記第一のロックが掛かる請求項１記載のロック機能付きスライド式包装箱。

【請求項５】

前記外箱形成片の前記外板補助板の内側に透孔が形成され、

前記外箱形成片を組み立てた状態で、前記第一の外箱側面板の裏面側に前記外箱補助板が重なり、前記透孔の周縁部とその内側との段差によって第三の外箱係合凹部が形成され、

前記第一及び第二のロックが解除された状態で前記内箱が引き出されると、前記第一の内箱係合片が前記第三の外箱係合凹部に入って係合し、前記内箱が抜け止めされる請求項１乃至４のいずれか記載のロック機能付きスライド式包装箱。